

2020年 安全報告書



車両検査を行う車両区員



天竜浜名湖鉄道株式会社

I. ごあいさつ

日頃から、天竜浜名湖線をご利用いただくとともに、弊社の運営にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

弊社は2011年8月の遠州天竜舟下り転覆事故を教訓として、「安全・安定した列車運行の継続」を経営方針の最上位に掲げ、安全管理体制や安全教育訓練の再構築、設備投資計画の着実な推進など、社員一同が全力でお客様の信頼確保に努めるとともに、日頃の鉄道運行の安全対策を行ってまいりました。

こうした中、近年における局地的大雨や台風などの自然災害は、甚大な被害をもたらす皆様の生活に多大な影響を及ぼす傾向にあります。2019年度においては、弊社路線も台風19号の接近による計画運休を実施させていただき、ご利用の皆様には大変ご不便をおかけいたしました。

これらを踏まえ、事故のみならず予期せぬ自然災害に対しても、被害を未然に防ぐとともに鉄道事業者の最大の責務である、安全で安定した列車運行を確保・継続するため、さらなる鉄道施設・設備の更新、保守管理及び社員のスキルアップ並びに安全意識の向上・徹底に努めてまいります。

さて、この報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、2019年度の弊社における輸送の安全にかかわる情報を皆様に公表させていただくものです。安全輸送を維持するために、そして、地域の皆様に愛され、親しまれる存在になるために、皆様の率直なご意見やご感想をいただければ幸いです。



天竜浜名湖鉄道株式会社
代表取締役社長 **長谷川 寛彦**

Ⅱ. 安全確保のための基本方針と重点施策

1. 弊社では、これまで利用者の皆様方が、利用しやすく、交通弱者にやさしく、安心してご利用いただけるよう「安全」「正確」「共存」を社是として定めて、会社運営にあたってまいりました。

運転の安全に関する規範として、綱領を次のとおり定めております。

- 一. 安全の確保は、輸送の生命である。
- 二. 規程の遵守は、安全の基礎である。
- 三. 執務の厳正は、安全の要件である。

2. 2019年度は5年間の経営計画の初年度にあたる重要な年となりました。当該年度は年間利用者156万3千人の達成、安全・安定した列車運行の確保・継続の実現に向けて、計画を確実に進捗するよう次の安全重点施策の下、取り組んでまいりました。

〔安全重点施策〕

安全・安定した列車運行の確保・継続

- (1) 計画的な設備投資の実施による安全性の確保
- (2) 計画的な教育訓練の実施
- (3) 人材育成の強化

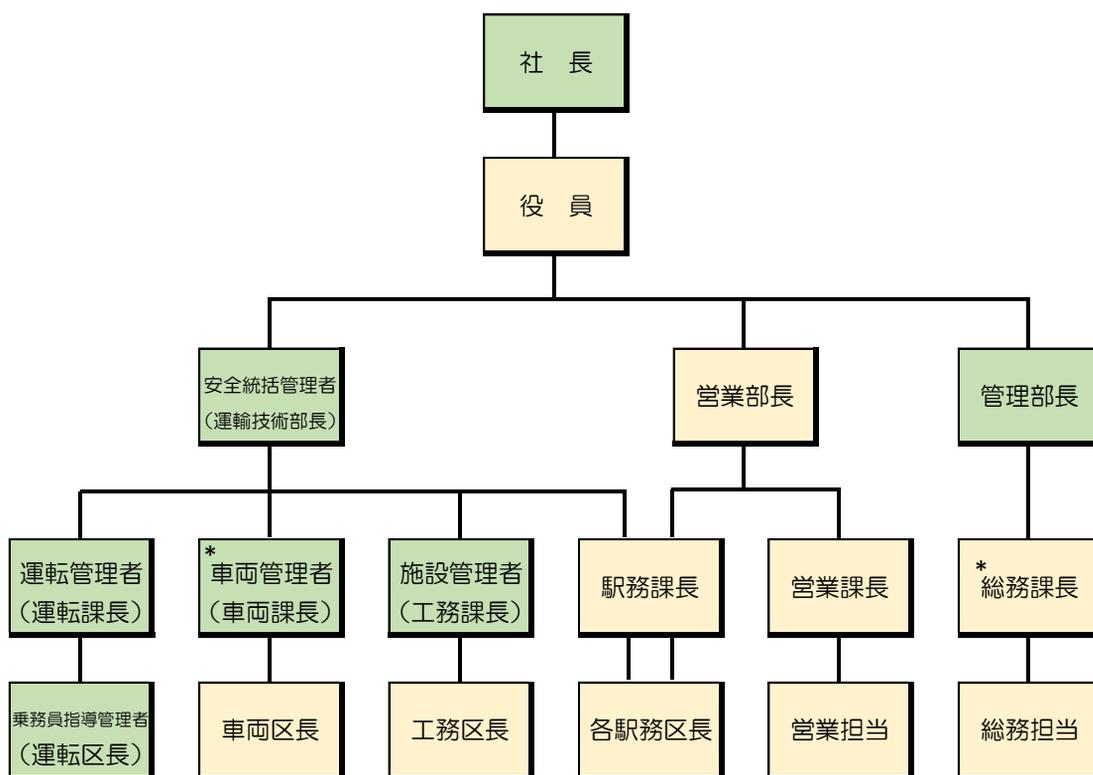
3. 2018年度から安全管理に対する具体的な数値目標を、弊社社員のみならず工事等関連業者を含む全鉄道係員に広げ、再び「300万km有責^{*}運転事故ゼロ」と定め事業を進めてまいりました。この目標達成に向け現在も「事故ゼロ」を継続中です。

* 鉄道係員の責任で発生した列車脱線や踏切障害等の事故

Ⅲ. 弊社の安全管理体制

弊社の安全管理規程に従い、社長をトップとする下表の安全管理体制を設け運用しております。

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を担う。
安全統括管理者（運輸技術部長）	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
管理部長	輸送の安全確保に必要な投資計画、人員計画等に関する業務を統括する。
運転管理者（運転課長）	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設管理者（工務課長）	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
車両管理者（車両課長）	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者（運転区長）	運転管理者を補佐し、乗務員の資質について維持管理する。



* 上席者が兼務

IV. 輸送の安全確保への取組

1. 安全対策委員会

社長を委員長とする各管理者と現場長による安全対策委員会を開催し、輸送障害の原因分析や教育訓練をはじめとする安全施策の協議を行っております。2019年度は、定例の委員会に加え、踏切障害の発生に伴う臨時の委員会を実施いたしました。



2. 大規模災害復旧訓練

事故や災害に備えて、全社を挙げ防災訓練を実施しております。2019年度の訓練では、交流協定を締結した三陸鉄道様から震災における貴重な体験談やアドバイスを頂き、これらを参考にしながら巨大地震の発生による建屋の倒壊や停電を想定し、ディーゼル車両を仮設の対策本部に仕立てて、対策本部の運営をはじめ、旅客の避難誘導、負傷者の救護、火災の消火活動、情報収集などの総合的な訓練を実施するとともに、各係員の役割分担等について確認いたしました。



3. 踏切事故防止のための啓発活動

春の全国交通安全運動期間中は、街頭広報活動の一環として踏切道及び駅構内において踏切通行者や鉄道利用者に対し、一旦停止や左右の安全確認等呼びかけるなど、踏切事故防止の啓発活動を行いました。

4. 内部監査

安全輸送に関する適正な業務執行を徹底させるため、2019年12月に常勤監査役を主任監査員とし、運転・駅務・車両・工務の各部署から監査員に指名された社員4名による内部監査を実施いたしました。



内部監査の様子

5. 安全衛生パトロール

2019年10月、社長及び担当部課長らによる安全衛生パトロールを実施し、各職場内の安全及び衛生環境が保たれているか確認いたしました。

6. 年間計画に基づいた教育訓練

業務の安全管理に関する社員力の向上を図るため、安全統括管理者が年間の教育訓練計画を策定し、その計画に基づいて、基本作業の習熟や災害発生時の行動に関する実践的な教育訓練を行うほか、各種協会等が実施する外部研修会の受講を積極的に推進しております。教育訓練の実施状況については、月毎の定例会議で進捗状況を確認しております。2019年度に実施した教育訓練の一例を以下に記載いたします。

○異常時訓練（4月）

運転指令員を対象に、停電や災害等で無線局の端末機器が使用不能になった場合に備えて、無線基地局の取扱い実地訓練を行いました。



○基本教育（11月）

駅員・乗務員を対象に、車椅子利用の方をはじめ、身体が不自由な方が安心して乗車して頂けるよう、実戦形式で対応訓練を行いました。



○安全教育（11月）

社長以下、全社員を対象に安全意識向上のため、安全統括管理者が講師となり「事故事例に学ぶ安全管理」と称した講習会を実施いたしました。



○異常時訓練（12月）

事故や災害などの異常時に備え、車両の入換え作業をはじめとする運転取扱いの習熟を目的とした訓練を全駅員を対象に実施いたしました。



○若年運転士教育（4、7、11、2月）

運転免許取得後、3年未満の運転士に対し、さらなる知識や技能向上のため、一般の運転士とは別メニューの教育訓練を四半期ごとに実施しております。



7. 中部運輸局による保安監査の実施

2020年2月、国土交通省中部運輸局の職員による保安監査が実施されました。監査では2017年度の監査で指摘された箇所の改善状況等を確認されました。



国交省職員による現地監査

V. 2019年度の運転事故・輸送障害等に関する報告

2019年度は、インシデント（事故の兆候）はありませんでしたが、運転事故が2件発生しました。輸送障害については、自然災害6件、車両関係3件、電気施設3件、鉄道外の要因2件の計14件が発生いたしました。

2017～2019年度における運転事故、インシデント、輸送障害の発生件数

区分	2017年度	2018年度	2019年度
運転事故	0件	0件	2件
インシデント（事故の兆候）	0件	0件	0件
輸送障害	16件	14件	14件

※輸送障害とは、運転事故以外で運休や30分以上の遅延が生じたものです。

○運転事故の概況

- ・2019年12月2日発生：踏切障害事故（直前横断）

上り列車の運転士は、踏切にさしかかる約70m手前で踏切内を横断する歩行者を発見し非常ブレーキ手配を執ったが、これに及ばず衝撃した。衝撃した歩行者は収容先の病院で死亡が確認された。この事故により、上下12本の列車が運休した。なお、当該踏切は遮断機のない第三種踏切道であることから、運輸安全委員会の事故調査対象となったほか、地元警察と自治会及び関係機関による交通死亡事故現場診断が実施された。



運輸安全委員会の調査



交通死亡事故現場診断の実施

- ・ 2019年12月28日発生：踏切障害事故（直前横断）

上り列車の運転士は、踏切にさしかかる約120m手前で踏切内に進入する軽四トラックを発見し非常ブレーキ手配を執ったが、これに及ばず衝撃した。軽四トラックは衝撃により踏切脇の水路へ転落し軽四トラックの運転手が負傷した。この事故により、70分の列車遅延が発生した。



○主な輸送障害の概況

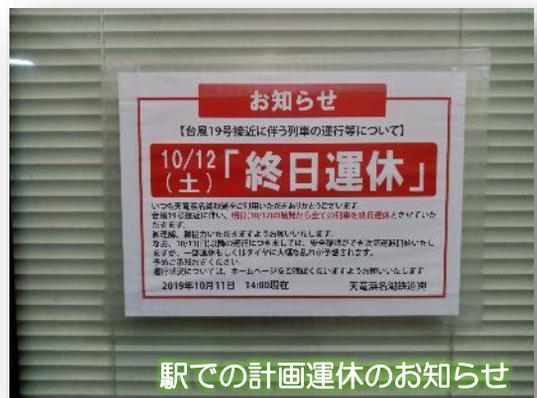
- ・ 2019年7月22日発生：自然災害（水害）

大雨による影響で、19時過ぎから原谷駅～知波田駅間で30km/hの運転規制を実施していた。その後、原谷駅付近で線路内へ雨水が流入しているのが発見され、21時過ぎから掛川駅～天竜二俣駅間を終日運休とした。この影響により、上下13本の列車が運休した。

○その他

- ・ 2019年10月12日：計画運休の実施

台風19号の接近により、大雨や強風による運転規制や施設障害などの影響を考慮し、計画運休を発表して全線を終日運休とした。台風通過後の翌朝から、線路や施設等の点検を行い安全が確認されたことから、全線の運転を再開した。



VI. 施設整備・保守検査等の計画的な取組

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業などの補助を得て、以下の施設整備、保守検査を行いました。

整備額は405,302千円で、施設整備関係が309,038千円、車両関係が96,264千円でした。

区分：設備改修	整備内容
線路設備	<ul style="list-style-type: none"> • レールの重軌条化 • PCまくら木交換、道床交換 • のり面改修



レールの重軌条化



PCまくら木交換



道床交換



のり面改修

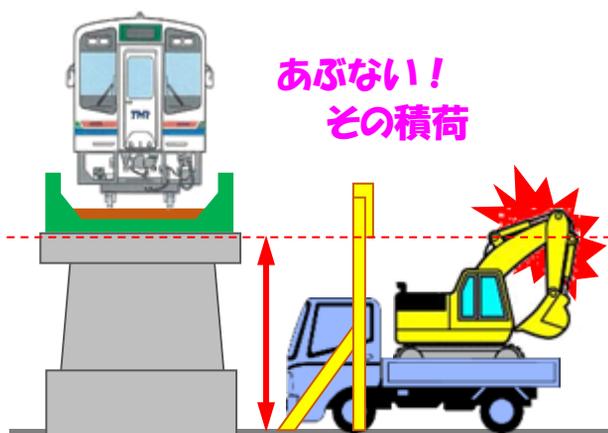
区分：設備改修	整備内容
<p>線路設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの改修 ・トンネルの改修 ・踏切道改修など
 <p>橋りょう改修</p>	 <p>橋りょうの落橋防止対策</p>
 <p>トンネル改修</p>	 <p>踏切道改修</p>
<p>信号保安設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃ断機交換、踏切器具箱更新 ・通信線更新など
 <p>しゃ断機交換</p>	 <p>踏切器具箱の更新</p>

区分：車両検査	整備内容
<p>検査修繕</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全般検査（計4両） 車輪削正（計3両） その他の臨時検査など
 <p>全般検査（エンジンテスト）</p>	 <p>全般検査（床下機器取付）</p>
<p>保全・保守点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> 軌道整備、沿線の除草薬散布、電気設備保全点検など
<p>その他工事等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎の修繕、障害復旧工事、支障木の伐採など
 <p>軌道整備</p>	 <p>除草薬散布</p>
 <p>駅舎修繕</p>	 <p>支障木伐採作業</p>

VII. ご利用の皆様・通行される皆様にお願ひ

○事故防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- ・踏切では、必ず一旦停止をして左右をよく見てから渡りましょう。
- ・大型自動車や荷物を積んでガードをくぐるときは、高さ制限に注意してください。
- ・駅構内の通路では、警報機が鳴ったら渡らないでください。
- ・駆け込み乗車は危険です。余裕をもってホームで列車をお待ちください。
- ・線路内には、立入らないでください。大変危険です。



実際に、このような事故が発生しています!

○新型コロナウイルス感染拡大防止に関するご利用の皆様へのお願いです。

- ・マスクを着用し、会話は控えめに
- ・車内換気へのご理解とご協力を
- ・混雑を避けた時間帯でのご利用を



Ⅷ. 問い合わせ先

安全報告書へのご意見やご感想は、下記までお寄せください。

〒431-3311

静岡県浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2

天竜浜名湖鉄道株式会社

TEL 053-925-6125

(土曜・日曜・祝日を除く、9:00~17:00で受付)



のどかな田園風景と奥浜名湖を巡る天浜線

